

# 学力確認課題について

2024年4月

経済学研究科では、博士課程後期に所属する社会人大学院生の方に対して、博士論文の提出要件として「学力確認課題」制度を設けています。

「学力確認課題」制度を簡単に説明すると、

- ① 博士論文の作成に必要となる学力を確認する課題が、指導教員より与えられる。
- ② この課題に対する報告を2回（1年間に1回）、神戸大学で行う。
- ③ 2回とも合格点に達していれば、博士論文提出の際の要件が満たされていると判定する。

このような方法をとることによって、社会人大学院生の方は、これまでのように神戸大学にお越しになり大学院の講義を受講し、定期試験（学力試験）を受けるという手続きは必要ありません。ご自宅において指導教員から与えられた課題をじっくりと準備、作成し、一定期間後に神戸大学で報告するという方法で、博士論文を提出する際の要件を満たすことができます。以下では、同制度の詳細について説明します。

## 1. 学力確認課題とは？

- 博士論文の作成に必要となる学力を確認する課題（レポート）です。博士論文を作成する際には高度な学力が必要ですが、具体的な課題は博士論文のテーマによって様々です。

例 博士論文のテーマ「経済成長と所得の不平等に関する実証的考察」

学力確認課題の内容（案）

- ・分析に必要な計量手法（例：パネル分析）についての理解の確認
- ・テーマに関する代表的論文のサーベイ
- ・データを用いた実証分析（博士論文の一部となる形でも構わない）

- 学力確認課題は、博士論文を完成させる上で必要となる学力を確認する課題であり、博士論文を審査する際の主査（指導教員）、副査によって予め課題内容が決められます。与えられた課題内容を十分に理解した上で、課題の作成を進めてください。

## 2. 学力確認課題の作成から博士論文の完成までの手続き

※以下は4月入学で標準的な3年で課程を修了する場合を想定しています。

### 1年目

- 1) 学力確認課題(第1回目)の内容について指導教員から通知を受ける。
  - ・課題の内容についてできるだけ具体的に指示を受け、内容を十分に理解してください。
  - ・課題の報告時期を予め指導教員と相談しておいてください。
- 2) 与えられた学力確認課題の準備
  - ・与えられた課題作成を行ってください。
  - ・途中で不明な点等あれば、指導教員に適宜連絡をとり指導を受けてください。
- 3) 学力確認課題の報告
  - ・課題がほぼ完成したら、指導教員と相談の上で、神戸大学での課題報告日を決めてください。
  - ・課題報告は、主査(指導教員)と、副査(2名)に対して行われます。
  - ・報告終了後、主査と副査によって審査が行われます。合格点に達している場合には、第2回目の課題作成に取り組んでください。

### 2年目

- 1) 学力確認課題(第2回目)の内容について指導教員から通知を受ける。
- 2) 与えられた学力確認課題の準備
- 3) 学力確認課題の報告
  - ・報告終了後、主査と副査によって審査が行われます。合格点に達している場合には、2回の学力確認課題は終了し、博士論文の提出要件を満たしたことになります。

### 3年目前期

- 1) 博士論文の完成に向けて準備していく。
  - ・指導教員と連絡を取りながら、博士論文の完成にむけて準備を進めてください。
- 2) 博士論文提出の申し込み
  - ・7月初旬に「論文提出申込書」を作成し、教務係に提出してください。

### 3) 公開セミナーの実施

- ・博士論文の概要について神戸大学において9月中に公開セミナーを行ってください。
- ・具体的な日程については、指導教員と相談してください。

## 3年目後期

### 1) 博士論文を提出する。

- ・詳細はHPのマニュアル等を確認してください。

### 2) 最終試験を受ける。

- ・2月中に神戸大学で最終試験を受けてください。
- ・具体的な時期については、指導教員と相談してください。

### 4) 学位授与の決定

- ・3月上旬に決定します。

## 3. Q&A

### Q1 4月始まりで提出した場合の1年間のスケジュールを教えてください。

- ・4月中に学力確認課題の内容、夏休みまでに行っておくべきことを、指導教員としっかりと相談してください。
- ・11月から12月に課題報告を行い、審査を受けてください。

### Q2 1年間に2回、学力確認課題の提出と報告を行うことはできますか？

- ・1年間に2回の提出はできません。  
(例：2024年4月始まりで提出したのにも関わらず、2024年10月始まりにも提出することはできません。2024年4月始まりで課題を提出されたのであれば、次に最短で提出できるのは2025年4月始まりとなります。)
- ・ただし、後期入学時に、2回分の学力確認課題の内容について、指導教員から指示を受けることは可能です(2年間の学習がより計画的に出来ます)。

※4月(10月)始まりで提出できるのは4月(10月)入学の学生だけに限らず、10月(4月)入学の学生も4月(10月)始まりの課題を提出することが出来ます。

**Q3 学力確認課題が不合格になった場合にはどうなるのでしょうか？**

- ・1年目の学力確認課題に不合格（**×**）になった場合には、2年目と3年目前期に合格（○）できるように頑張ってください（以下のイメージです）。

	学力確認課題	提出の際の手続き
1年目	<b>×</b>	
2年目	○	
3年目前期	○	論文提出申込書の提出・公開セミナー
3年目後期		最終審査

\*3年目前期の論文提出申込書の提出期限は7月上旬です。したがって、3年目前期の学力確認課題（2回目）の報告と審査を、なるべく6月末までに行ってください。

- ・2年目の学力確認課題に不合格（**×**）になった場合には、3年目前期に合格（○）できるように頑張ってください（以下のイメージです）。

	学力確認課題	提出の際の手続き
1年目	○	
2年目	<b>×</b>	
3年目前期	○	論文提出申込書の提出・公開セミナー
3年目後期		最終審査

\*3年目前期の論文提出申込書の提出期限は7月上旬です。したがって3年目前期の学力確認課題（2回目）の報告と審査は、なるべく6月末までに行ってください。

**Q4. 長期履修制度を申請している場合には、どのようなスケジュールになりますか？**

- ・申請した長期履修制度の年数を考慮して、学力確認課題の終了と、博士論文の完成を目指してください。
- ・ただし、学力確認課題に合格することが博士論文提出の際の条件となりますので、できるだけ早く（できれば2年目、3年目に）学力確認課題を終えておくことが望ましいです。